神奈川県

world diabetes day
14 November

県庁ブルーライト

2026.11.9 Mon. ⇒ 11.14 Sat.

県内で実施するブルーライトアップ


横浜市開港記念会館


横浜港大さん橋
国際客船ターミナル


川崎市役所本庁舎


小田原城


江の島シーキャンドル

共催：神奈川県、神奈川県糖尿病対策推進会議

World Diabetes Day［11月14日］“ブルーライト県庁”

11月14日「World Diabetes Day」のシンボルであるブルーサークルにちなんで、キングの塔を青くライトアップします。

概要

日 時：2026.11.9（月）～11.14（土）17：00～19：00（11月14日（土）は18：30頃～21：00）
会 場：神奈川県庁本庁舎　〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1



県内で実施するブルーライトアップ

施設名	ライトアップ日時
横浜市開港記念会館	11月9日（月）～15日（日） 18：00～22：00
横浜港大さん橋国際客船ターミナル	11月1日（日）～2月28日（日） 17：00～22：00
川崎市役所本庁舎	11月12日（木）～14日（土） 日没～22：00
小田原城	11月13日（金）～15日（日） 19：30～20：30
江の島シーキャンドル	11月14日（土） 日没～22：00

※ライトアップの時間は状況により変更になることがあります。

・World Diabetes Dayについて

世界に拡がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定し、2006年に国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日でもあります。

world diabetes day
14 November

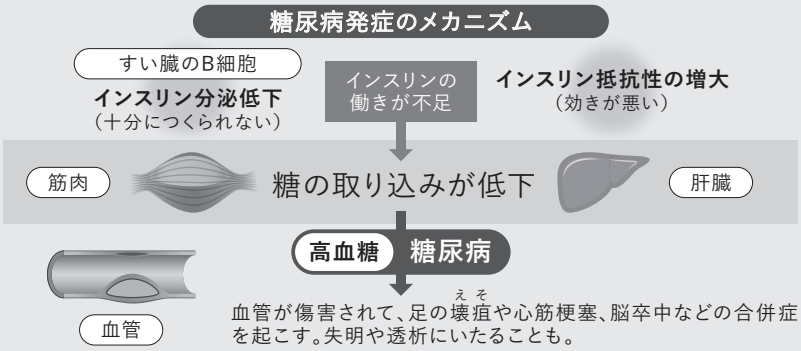
World Diabetes Dayのキャンペーンに用いられる、青い丸をモチーフにしたシンボルマーク「ブルーサークル」は、国連のイメージカラーであり、どこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインしたもので、キャッチフレーズは“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）です。
（参考：World Diabetes Day実行委員会ホームページ）

・糖尿病ってどんな病気？

食事をして血糖値が高まると、すい臓から出るインスリンが、肝臓や筋肉などの身体の組織がブドウ糖を取り込むのを促し、血糖値をちょうどよい値にコントロールします。
しかし、何らかの原因により、インスリンが十分につくられない、あるいはインスリンの効きが悪いことで、ブドウ糖が肝臓や筋肉などに取り込まれず、血糖値が高いままになってしまうのが糖尿病です。放置すると、細い血管が傷み、失明や足の壊疽（えそ）、腎不全など全身に様々な影響が出てきます。

・糖尿病の原因

糖尿病は大きく分けて、1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病、その他に分類されます。糖尿病患者の多くは2型糖尿病で、生活習慣が大きく影響します。



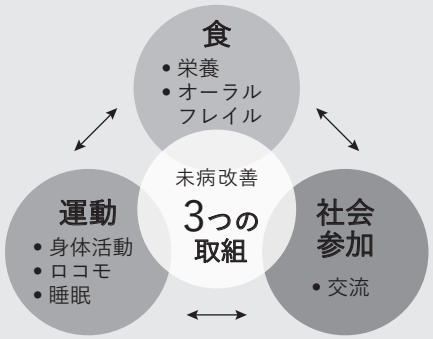
・生活習慣を見直そう！

不適切な食生活や運動不足などの不健康な生活習慣は、糖尿病、高血圧症、肥満症、脂質異常症などを招くリスクがあります。
誰もがいくつになっても元気にいきいき暮らしていけるよう、神奈川県では、食・運動・社会参加の3つの取組を柱に、日ごろから心身をより健康な状態にしていく「未病改善の取組」を推進しています。

・未病とは？

人の健康状態は、ここまでは健康、ここからは病気と明確に区別できるわけではなく、健康と病気の間で連続的に変化しており、その状態を未病といいます。







未病改善ヒーロー
ミビョーマン

問合せ　神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課 045-210-4784　詳しくは▶